2020年度　学校評価総括表　伊丹市立笹原小学校

教育目標	心身豊かに学び合う子どもの育成
重点目標	1.学びあいの学校づくり ①教育課程の重要性に鑑みて、学校評価検討委員会及び学校運営協議会が評価行に関与し、課題が共有して組織的改善に取り組む。 ②伝えあいの少ない学校を目指して、「聞く力／話す力／話すための書く力」を中心とした、コミュニケーション能力を各学年で系統的に指導し、基礎・基本の定着を図る。 ③学習面や行動面で特別な支援の必要な児童の情報共有を徹底するとともに、適切な環境整備の充実、合理的配慮の提供に努める。 ④一人ひとりの子どもに「たくさんほめる」「ありがとう」「やるとき楽しい」をモットーに教育と連携教育を推進する。 ⑤教員の情報収集の体制づくりを行い、より良いカリキュラム・授業作りに努める。 ⑥「あかいくつ」「ありがとう」「思考・表現」を育て、課題解決能力を育てる。 ⑦学校生活のきまりについて保護者や地域関係者はルール作り段階にあたる。 ⑧他に「安心して「活動に取り組むことができるよう指導する。 ⑨地域自治事業の構築。 ⑩開かれた学校作り ⑪「子育て」「しつけ」問題行動の未然防止・早期発見・即時対応に努め、家庭や地域、学校運営協議会、関係機関と連携し、力を合わせる。 ⑫交通からみの多くの子どもや交通ルールなど校内外での安全を図ったり、子どもの指導を徹底するとともに、子どもたちの安全を守る。 ⑬学校だよりやホームページ、保護者向け一斉メール配信等を活用して、時間的な情報発信を行うとともに、情報管理を徹底する。

項目	重点保目	具体的施策	成果目標	A or B or C	成果と課題	評価理由書	改善策	学校関係者評価
学力の向上	①教育課程 教育目標の具現化に向けて、学校評価検討委員会及び学校運営協議会が評価行に関与し、課題が共有して組織的改善に取り組む。 教育課程編成・実施・評価・改善サイクルを確立する。 教育課程の編成・実施・評価・改善サイクルを確立する。 ・「聞く力」「話す力」「話すための書く力」を中心とした、コミュニケーション能力を各学年で系統的に指導する。 ・「基礎・基本」の定着を図る。 ・「思考・表現」を育て、課題解決能力を育てる。 ・「あかいくつ」「ありがとう」「やるとき楽しい」をモットーに教育と連携教育を推進する